

# 平成28年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：高校教育指導課

担当名：体験活動・キャリア教育推進担当

内線：6772

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B45	課題を抱える生徒の自立を支援する共助プラン			一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	指導内容充実費		
事業期間	平成26年度～平成30年度	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律			戦略項目	06	時代に応え未来を拓く人材育成		
					分野施策	020101	確かな学力と自立する力の育成			
1 事業の概要				5 事業説明						
<p>基礎学力に課題を抱えた高校生を対象として、外部教育力を活用し、義務教育段階の学習内容の学び直しや福祉・医療分野を含めた生活支援を行うことにより、生徒一人一人の適性に応じた社会的・職業的自立に必要な力を育成する。</p> <p>(1) 学習支援 <math>\Delta 500</math>千円 報償費が見込みを下回ったことによる減</p>				<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 学習支援 31,026千円</p> <p>(ア) 学習サポーターの配置(全日制10校、定時制19校) 26,146千円 特に中途退学者の多い高校1年生を対象に、国語、数学(算数)、英語の学び直しを徹底</p> <p>(イ) ICTを活用した基礎学力の定着・学び直しの徹底 4,880千円 タブレット端末を活用し、義務教育段階の学び直しを進める。</p> <p>イ 自立支援 11,250千円</p> <p>(ア) 多文化共生推進員の配置 11,250千円 外国人が多い定時制高校に配置し、言語に起因する学校生活の問題解決を図り、学習環境を整備</p> <p>(2) 事業計画 平成26年度から平成30年度 全日制高校10校 定時制高校19校</p> <p>(3) 事業効果 社会人として必要な確かな学力等の自立する力の育成、中退防止や就職内定率の向上及び就職未内定者の減少が期待できる。</p> <p>(4) 補正予算の概要 (1) 学習支援：報償費が見込みを下回ったことによる減額。</p>						
2 事業主体及び負担区分										
(1) ア(ア) (一部国1/3・県2/3) ア(イ) (国10/10) (2) (県10/10)										
3 地方財政措置の状況										
なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員										
9,500千円×0.2人=1,900千円										
予算額		財源内訳							一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金								
決定額	$\Delta 500$							$\Delta 500$	41,776	
現計額	42,276	7,336						34,940		